

平成30年度 島しょ教育研修会

学習指導案集



平成30年5月24日（木）

25日（金）

八丈町立三原中学校

平成30年度島しょ研（教科）実施計画

八丈町立三原中学校

【日程】平成30年5月24日（木）2便にて来島後三原中へ（送迎 副校長）
平成30年5月25日（金）3便にて帰京（送迎 副校長）

【講師】東京都教職員研修センター 研修部教育経営課
指導主事 角田 恒一 先生

【計画】5月24日（木）

- 14:00～ 学校説明・案内（校長）
- 14:25～ **山口 教諭（3年次）研究授業（2年 家庭科）**
- 15:30～ 授業研究協議会での指導・講評（終了16:15）

5月25日（金）

8:30～ 授業参観
1年国語（朝比奈）
2年理科（柏倉）
3年英語（峯重）

} 授業の様子を自由に参観していただく。

9:30～ 授業参観
1年数学（久保）
2年社会（鈴木）
3年国語（朝比奈）

} 授業の様子を自由に参観していただく。

10:30～ **氏家 主任教諭 研究授業（1年 学活）**

11:30～ **峯重 教諭 研究授業（2年 学活）**

12:30～ 給食（校長室）

13:25～ **久保 主任教諭 研究授業（3年 学活）**

14:30～ 授業研究協議会での指導・講評、特別活動に関する講演

16:00 終了

※ ゴシックは略案、資料作成（5月14日締切）

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成30年5月24日（木）

第6校時 14:25～15:15

対 象 第2学年 10名

授業者 教諭 山口 佑子

場 所 2年教室

1 題材名

1編 私たちの衣生活と住生活 2章 献立作りと食品の選択生活「食品の選択と購入について考えよう」
（東京書籍 新しい技術・家庭 家庭分野 P44～47）

学習指導要領 B-（3）-ア-（7）

2 題材の目標

- ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について考え、工夫できる。
（関心・意欲・態度・工夫・知識・理解）
- ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。（技能・知識・理解）
- ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。（知識・理解）

3 題材の評価規準

観点 評価	ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術についての 知識・理解
題材の 評価 規準	日常食の献立と食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	日常食の献立と食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指している。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	日常食の献立と食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
学習活動 に即した 具体的な 評価規準	①食品の栄養的特質や中学生の一日に必要な食品の種類と概量について関心をもっている。 ②中学生の1日分の食事のとり方に関心をもち、必要な栄養量を満たす食事のとり方をしようとしている。 ③生鮮食品と加工食品の表示の意味と良否の見分け方について関心をもっている。 ④食品の保存について関心をもち、食品に合わせた保存を考えている。	①中学生の1日分の献立について課題を見付け、必要な栄養量を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している ②用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。	①身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。	①食品の栄養的特質について理解している。 ②食品群や食品群摂取量の目安について理解している。 ③中学生の一日に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。 ④食品の選択における観点について理解している。 〔・目的・栄養 ・価格・調理の能率 ・環境への影響など〕

4 指導観

(1) 題 材 観

本題材では、次の学習指導要領の内容に該当する。

3 内容

B 食生活と自立

(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解すること。

(イ) 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。

イ 中学生の1日分の献立について考え、工夫すること。

(3) 日常食の調理と地域の食文化

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。

(イ) 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。

(内容の取扱い)

エ (3)のアの(ア)については、主として調理実習で用いる生鮮食品と加工食品の表示を扱うこと。

本題材は学習指導要領「B食生活と自立」の「(3)日常食の調理と地域の食文化」における「(ア)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること」を達成させるために、食品の表示を取り扱う。

指導に当たっては、身近な加工食品を扱うことで目的、栄養、価格、調理の能率、環境への影響などの諸条件を考えて選択することの大切さを知り、用途に応じた選択ができるようにする。また、食品の表示の読み取りや既製品と手作りを比較することで、今後の食生活に生かせるようにする。

(2) 生 徒 観

本時の学習までは、食品の栄養素や献立の立て方、生鮮食品と加工食品の特徴を中心に学習した。食についての関心は高く、積極的に自分の意見や考えを述べる生徒が多い。本時を通して、自分の身近にある食品の表示について知ること、自分で食品を選択する幅を広げさせたい。

(3) 教 材 観

本教材では家庭にある食品を自分で調べることができるように、持ち帰りタブレットを使用した。自分の家庭にある食品を調べることで、日常的に用いられている食品の品質を外観や表示などから見分けることができるようにする。また、しょうが焼きのたれを既製品と手作りの長所と短所で比較することで、自分の用途に合わせた食品の選択ができるようにする。

5 年間指導計画における本単元との関係

	4月～5月	6月～9月	10月	11月～12月	1月	2～3月
題材名	献立作りと食品の選択	調理と食文化	よりよい食生活を目指して	消費生活	環境に配慮した消費生活	幼児の生活と家族
学習指導要領	B(2)ア・イ B(3)ア・イ		B(7)ア	C(1)ア・イ C(2)ア・イ	C(3)ア	A(1)ア A(3)ア・イ
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて理解する。 ・中学生の一日に必要な食品の種類と概量がわかり、1日の献立を考え、工夫する。 ・日常生活に関連づけ、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。 ・日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について課題と計画を立て、実践し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・自立した消費者として責任ある消費行動を考え実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活について、課題と計画を立て、実践し、評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解し、協力して家庭生活を営む必要があることに気付く。 ・協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解する。 ・地域の人々の関わりについて理解する。 	

6 題材の指導計画と評価計画（7時間扱い）

時 (本時)	主な学習活動	具体的な評価規準 評価方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○食品に含まれる栄養素を調べよう ・自分の好きな食品を食品成分表から選び、食品に含まれる栄養素を調べる。 ・調べた食品に多く含まれている栄養素と分かったことを発表する。 ・たんぱく質とカロテンを多く含む食品を食品成分表で調べる。 	ア-①【ワークシート】 エ-①【ノート】
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○何をどれくらい食べればよいか考えよう ・カレーライスに入っている食品や付け合せで食べる食品を挙げ、6つの食品群に分類する。 ・中学生の食品群別摂取量について、教科書を用いて説明し、自分の食生活を振り返る。 	エ-②【ノート】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ○バランスの良い食事について考えよう ・一日の献立について栄養の観点から、6つの食品群に分類する。 ・自分の考えた献立をグループの中で発表し、6つの食品群の条件を満たしたものになっているか確認する。 	ア-②【観察】 イ-①【ワークシート】 エ-③【ワークシート】
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ○生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう ・生鮮食品と加工食品に様々なじゃがいもを分類する。 ・生鮮食品を旬の時期に分類し、旬の時期の栄養素について説明する。 ・レトルト食品や冷蔵食品など身近な加工食品を挙げ、加工する目的を考える。 	エ-④【自己・相互評価】

第5時	○食品の選択と購入について考えよう ・生鮮食品と加工食品を選ぶときの観点について、具体的な食品の例を挙げ考える。 ・生鮮食品と加工食品の表示の例を用意し、食品の表示の見方を知る。	ウ-①【撮影した写真】 エ-③【ワークシート】
第6時 【本時】	○食品の選択と購入について考えよう② ・自分の家庭の食品の表示を調べ、グループ内で共有し、自分で食品を選ぶときに意識する表示とその理由を考える。 ・しょうが焼きの既製品のたれと手作りのたれを比較し、長所と短所について考え、今後食品を選ぶうえで気を付けたいことをまとめる。	イ-②【撮影した写真】 エ-④【ワークシート】
第7時	○食品の保存と食中毒の防止について考えよう ・自分の家庭で食品をどのような場所に保存しているか考える。 ・身近な食品を例に挙げ、食品をどこに保存すると良いかグループで考え発表する。 ・食中毒の原因である細菌が増殖する原因を考え、食中毒の防止について知る。	ア-④【観察】

7 指導の工夫

○家庭学習用タブレットを使用して、自分の家庭にある食品の表示を調べることができるようにする。

○既製品と手作りのものとの比較をする際、ホワイトボードを使用することで、全体で共有しやすいようにする。

8 本時における評価方法と評価基準

学習活動	評価方法	評価基準		Bに満たない生徒への支援
		おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	
○撮影してきた食品の表示をグループ内で共有し、自分で選ぶときに重視する表示に印を付ける。また、その理由をワークシートに記入する。	イ-②【ワークシート】 用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。	自分で選ぶ際に意識する食品の表示を記入し、その理由をワークシートに記入している。	自分で選ぶ際に意識する食品の表示を記入し、自分の生活と関連透けて記入している。	教科書 p 46・47 を提示し、食品の表示について振り返る。
○既製品のしょうが焼きのたれと手作りのたれの材料を比較し、ワークシートに記入する。 ○グループで手作りとい製品の長所と短所について話し合い、発表する。	エ-④【ワークシート】 食品の選択における観点について理解している。 ・目的・栄養 ・価格・調理の能率 ・環境への影響など	長所と短所について考え、ワークシートに記入している。	既製品と手作りのポイントを押さえて、ワークシートに記入している。	長所と短所のポイントのヒントを与え、個別に対応する。

9 本時（全7時間扱いの第6時間目）

(1) 本時の目標

- ・自分の用途に応じて食品を適切に選択することができる。
- ・手作りのものと既製品の特徴について考えることができる。

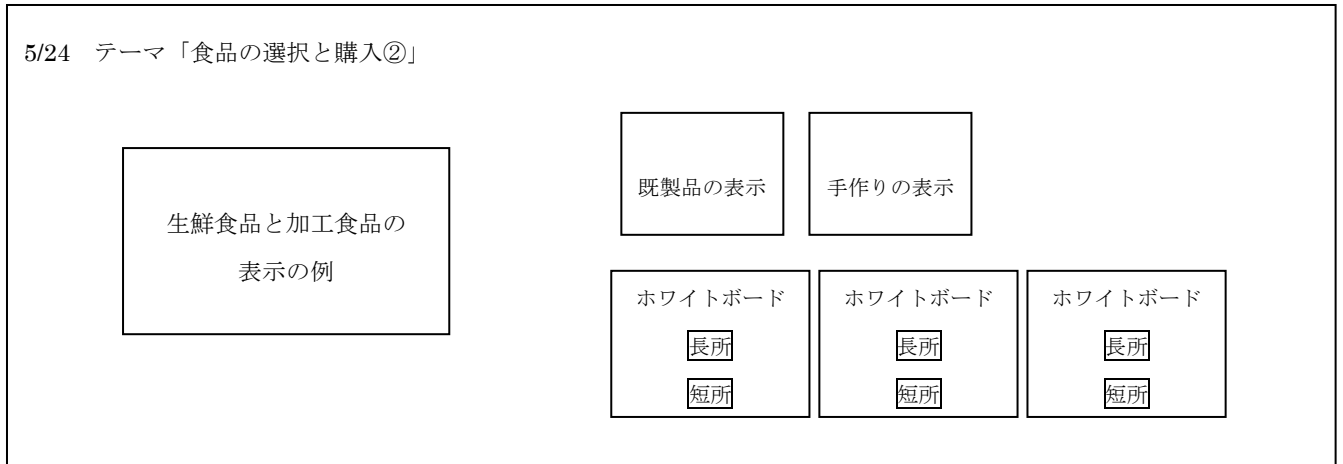
(2) 展開

時間	具体的な学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
事前	○家庭学習用タブレットで家庭にある生鮮食品と加工食品の表示を撮影しコラボノートに貼り付ける。	・前の授業で撮影の仕方について指導する。 ・自分の家庭内で身近な表示を撮影するように説明する。	

<p>導入 5分</p>	<p>○本時の学習を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">食品の選択と購入②</div> <p>○前回の授業の振り返りを教員の質問に答えながら行う。</p>	<p>・フラッシュカード、教科書を使用して賞味期限、消費期限、食品添加物等表示の見方についてポイントを押さえて振り返らせる。</p>	
<p>展開 40分</p>	<p>○撮影してきた食品の表示をグループ内で共有し、自分で選ぶときに重視する表示に印を付ける。また、その理由をワークシートに記入する。</p> <p>○既製品のしょうが焼きのたれと手作りのたれの材料を比較し、ワークシートに記入する。</p> <p>○グループで手作りのものと既製品の長所と短所について話し合い、ホワイトボードに記入し、発表する。</p> <p>○今後、食品を購入する時に気を付きたいことをワークシートにまとめ、発表する。</p>	<p>・自分の用途に応じた食品を表示から選ばせる。また、食品の表示の仕方は様々であることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><意識する表示></p> <p>生鮮食品</p> <p>国産・輸入、養殖・解凍、消費期限、値段</p> <p>加工業者や販売業者</p> <p>加工食品</p> <p>原材料(国産・輸入・食品添加物)、保存方法、栄養成分、期限、製造者、アレルギー表示、遺伝子組み換え食品</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><予想される答え></p> <p>賞味期限…長く保存しておきたいため</p> <p>栄養成分…健康を意識した生活を送りたいため</p> <p>アレルギー表示…自分も持っているアレルギーを確認したいため など</p> </div> <p>・既製品のしょうが焼きのたれの表示を用意する。</p> <p>・食品添加物が多く含まれていることに気づかせる。</p> <p>・材料・時間・味・費用・環境への影響について気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><既製品と手作りのポイント></p> <p>既製品</p> <p>長所：保存期間が長い・味が一定</p> <p>作る手間がない</p> <p>短所：価格が高い</p> <p>容器がゴミになる</p> <p>食品添加物が多く含まれている</p> <p>手作り</p> <p>長所：味を好みに変えられる</p> <p>ゴミが少ない</p> <p>短所：時間と手間がかかる</p> <p>保存期間が短い</p> </div> <p>・自分の今後の生活に活かして考えられるように説明する。</p>	<p>イ-② 【撮影した写真】用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。</p> <p>エ-④ 【ワークシート】食品の選択における観点について理解している。 ・目的・栄養 ・価格・調理の能率 ・環境への影響など</p>

<p>まとめ 5分</p>	<p>○振り返りシートに記入する。</p>	<p>・本時の感想と反省を記入する。</p>	
-------------------	-----------------------	------------------------	--

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

- 家庭学習用タブレットを使用して、家庭の食品の表示を調べることは生徒が活用できていたか。
- 既製品と手作りのものとの比較をする際、ホワイトボードの使用は適切だったか。
- 本時の目標と評価項目と学習内容が一致していたか。
- 時間の配分は適切であったか。

観点 評価	ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術についての 知識・理解
題材の 評価 規準	日常食の献立と食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	日常食の献立と食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指している。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	日常食の献立と食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
学習活動 に即した 具体的な 評価規準	<p>①食品の栄養的特質や中学生の一日に必要な食品の種類と概量について関心をもっている。</p> <p>②中学生の1日分の食事のとり方に関心をもち、必要な栄養量を満たす食事のとり方をしようとしている。</p>	<p>①中学生の1日分の献立について課題を見付け、必要な栄養量を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している</p> <p>②用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。</p>	<p>①身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。</p>	<p>①食品の栄養的特質について理解している。</p> <p>②食品群や食品群摂取量の目安について理解している。</p> <p>③食品を食品群に分類したり、する活動を通して中学生の一日に必要な食品の種類と概量について理解している。</p> <p>④中学生の一日に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。</p> <p>⑤生鮮食品と加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮度 ・原産地 ・原材料 ・食品添加物 ・栄養成分 ・期限表示 ・保存方法など <p>⑥食品の選択における観点について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的・栄養 ・価格・調理の能率 ・環境への影響など

食品の選択と購入

2年 番 _____

① 自分で食品を選ぶときに意識する表示を記入しましょう。また、その理由を書きましょう。

意識する表示： _____

その理由

② 既製品のしょうが焼きのたれと手作りのしょうが焼きのたれの材料を比較してみよう。

	既製品	手作り(教科書:p 60)
材料	醤油、砂糖、おろし生姜、食塩、発酵調味料、レモン果汁、唐辛子、ジンジャーパウダー、増粘剤(加工でん粉、キサンタンガム)、香料(原料の一部に小麦を含む)	•
長所	自分の班	自分の班
	他の班	他の班
短所	自分の班	自分の班
	他の班	他の班

③ 今後、食品を購入する時に気を付けたいことを書きましょう。

特別活動学習指導案

日時：平成30年5月25日（金）
3校時 10:30～11:20

場所：1年教室

対象：第1学年 8名
（男子3名、女子5名）

指導者：氏家 正博

1 題材名

「より良い学校生活を送るために先輩たちに質問してみよう！！」

2 題材の目標

- ・より良い学級、より過ごしやすい学校生活にするためにはどのようにすれば良いのか。
話し合い活動を通して、対話の中でクラスの課題を把握すること。
- ・先輩へ質問し、先輩の知識を活用することで思考力を深めること。

3 評価の観点

- ・学級の一員としての見方・考え方を働かせ、主体的に課題解決の活動に取り組むことができているか。
- ・学級での対話を通して、課題解決についての思考力、判断力を深めることができているか。

4 題材設定の理由

入学からおよそ2か月経ち、学校生活には徐々に慣れてきているが、課題も出てきている。教員からその課題を提示することは多々あるが、自分たちで課題を捉え、学校生活をよりよくしようとする様子があまり見られない。本時の活動を通して主体的に課題を捉える力、解決する力を身に付けさせたいため本題材を設定した。

5 生徒の様子

話し合い活動を行うと、発言力の強い一人の生徒の意見が通ることが多い。他の生徒も良く考え発言しているが、何が学級にとってより良い考え方なのかを思考する力が強くない。今回は生徒一人一人が主体的に思考を深められるようワークシートを活用しながら、授業を進めていきたい。

6 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導 入 (10分)	<p>○本時の流れを確認する。</p> <p>○それぞれが事前に記入・提出したワークシートを基に、学級生活の場面に応じた課題を確認する。</p> <p>○話し合い活動の注意点を確認し、小グループの役割分担をする。 (司会、書記、発表者2名)</p>	<p>・話し合いがスムーズに進むよう、話し合い活動の注意点や司会者の働きをロールプレイで具体的に説明する。</p>	<p>☆主体的に学校生活の課題を見付けることができるか。 (ワークシート)</p>
展 開 (35分)	<p>○学校生活の様々な場面において、より過ごしやすい学校生活を行うためには、どのようにしたらよいかを小グループで話し合う。</p> <p>①始業前 ②休み時間 ③昼休み ④係・委員会活動 ⑤放課後 ⑥部活動 ⑦学習方法 (家庭学習や宿題なども含)</p> <p>○小グループで話し合った内容を共有し、先輩に質問したい事項をまとめ、質問書を作成する。</p>	<p>・グループの全員が意見を言えるよう司会者が働き掛けているか、机間指導をしながら観察する。</p> <p>・話し合っただけで出た意見に課題がある場合は、その課題を教員が提示し、より良い過ごし方になるような話し合い活動をさせる。</p>	<p>☆課題を解決するための話し合い活動に進んで参加し、意見を述べたり、考えたりする活動を通して、思考力、判断力を深めることができるか。(観察)</p>
ま と め (5分)	<p>○話し合い活動の振り返りを行う。</p> <p>○意見箱についての説明を聞く。 →クラスに意見箱を設置し、より良い学校生活になるよう、自分たちで課題を提示していく。</p>	<p>・話し合い活動の役割をそれぞれができていたかを生徒に確認する。</p>	

特別活動学習指導案

日時：平成30年5月25日（金）
5校時 13:35～14:25
場所：2年教室
対象：第2学年 10名
指導者：峯重 透

1 題材名

SOS～砂漠でサバイバル

2 題材の目標

行動班（移動教室）ごとの小グループで、合意形成したり、協力して作業したりして、メンバー間の相互理解を深め、協調性を高める。

3 評価の観点

ア 集団活動や生活への関心・意欲・態度

イ 集団や社会の一員としての思考・判断・実践

ウ 集団活動や生活についての知識・理解

4 題材設定の理由

本学級では、1年生のときから「自分を好きになり、他者の粹な振る舞いに対する感謝の気持ち（ありがとう）を大切にする活動」を通して、人間関係を深めてきた。一方で、クラスの課題として「話し合いがまとまらない」ことがアンケートからも挙げられる。そのため、1年生の3学期に合意形成による話し合い活動を実施し、SCの先生から個別にコメントをもらう活動を行った。その活動がどのように活かされているのかを振り返ると共に、自他の考えを共有し合い、移動教室に向けてメンバー相互の協調性を高めたい。

5 生徒の様子

男子5名、女子5名の個性豊かで、明るく元気な学級である。自分自身の考えをもって伝える力や一つになって目標に向かう姿勢がある。一方で、他者の考えを受け入れられずに衝突してしまうことや衝突を恐れて表面的な付き合いになってしまうことも少なくない。

6 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価
導 入 (10分)	アイスブレイクを行う 「新聞紙ジグソーパズル」 新聞紙を縦に3回、横に2回折って、折り目をつける。折り目にそってはさみで切り、トランプ大の32枚のカードにする。合図と同時にパズル合わせを始める。	●壁にカラーの全面広告の新聞紙を貼っておく。 ●切ったカードは他の班と交換する。	ア (関) 【観察】
展 開 (36分)	1. 今日の授業の説明を行い、課題シートを配る。(5分間) 2. 「その場で助けを待つ」か「住居地があるところまで歩いていくか」を決める。(2分間) 3. 12の品物を重要な順に並べて、表のいちばん左の欄に数字を書く。(3分間) 4. 1年生ときのSCからのコメントカードを配布する。 5. 班で相談する。(10分間) 6. 班長は模造紙に順位を書く。(1分間) 7. 正解を発表する。(5分間) 8. 班の中で順番に、自分について、仲間について感じたこと、気付いたことを話し合う。(10分間)	●まずは個人で考えさせる。 ●コメントカードを話し合いに生かすように促す。 ●じゃんけんや多数決ではなく、理由を説明しながら話し合わせる。 ●模造紙に順位を書きやすいように表を印刷しておく。	ウ (知) 【観察】 ウ (知) 【ワークシート】 イ (思) 【観察・ワークシート】 イ (思) 【観察・ワークシート】
ま と め (4分)	振り返りを行う		イ (思) 【観察・ワークシート】

特別活動学習指導案

日 時：平成30年5月25日（金）
5校時 13:35～14:25

場 所：3年教室

対 象：第3学年 10名

指導者：久保 淳

1 題材名

「自分たちの話し合いの課題を発見しよう」

2 題材の目標

自分たちが学級で行う話し合い活動の課題を発見する

3 評価の観点

- ・話し合い活動に関心をもち、自分の考えをもととする。【関心・意欲・態度】
- ・自分たちの話し合い活動の課題を発見できる。【思考・判断・実践】

4 題材設定の理由

集団や自己の生活、人間関係の課題について、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになるためには、話し合いの方法が重要である。クラス全体（10名）での話し合いの課題を発見し、その後の話し合い活動を向上させ、集団における生活や人間関係をよりよく形成できるようにしたい。

5 生徒の様子

本クラスは10名のクラスである。自分から進んで学級の仕事をやる生徒が多く、班活動なども協力して行うことができるが、リーダーシップをとれる生徒があまりおらず、話し合い活動の進め方に課題がある。また、話し合い活動の中で、意見を発表するのが苦手だと感じている生徒が多い。3～4人の班なら発言できるが、クラス全体での話し合いになると、発言が少なくなる傾向がみられる。

6 本時の展開

※ 事前に朝学活などで、「話し合いのコツ」を調べる活動を行う

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価
導 入 (5分)	1 教師の話聞く	・小中合同の行事でリードしていくことをイメージさせる。	
	2 本時のテーマと流れの確認をする。		
自分たちの話し合い活動の課題を発見しよう			
展 開 (40分)	3 ビデオを見る (10分)	・事前に撮影しておいた、自分たちの話し合い活動の様子をビデオで見せる。	話し合い活動に関心を持ち、自分たちの課題を解決しようとする。 【関心・意欲・態度】 自分たちの話し合い活動の課題を発見できる。【思考・判断・実践】
	4 自分たちの課題を発見する (10分)	・班で課題は何かを話し合う。 ・ミニホワイトボードに記入する。	
	5 発表する (10分)	・ミニホワイトボードを黒板に貼る。 ・どのような話し合いの流れで、課題を発見したのかを発表する。	
	6 課題をまとめる (10分)	・議長を中心に、発見した課題をどう生かすか考える。	
ま と め (5分)	7 教師の話聞く	・本授業で発見した課題をもとに、今後の話し合い活動をよりよくして欲しい旨を伝える。	